

# 第3学年 総合的な学習の時間（はぐくみ） 学習指導案

草津市立老上小学校

指導者：小島 友里

## 1. 単元名 老上安全大作戦！

## 2. 単元の目標

- ・地域に住む人の数や年齢、地形などの様々な要因が、交通安全の課題につながっていることを理解し、交通安全のために必要なことを伝える相手に合わせて発信することができる。 (知識及び技能)
- ・探求的な見方・考え方を働かせ、老上小学校区の安全について必要な情報を収集し、解決方法を考え追究することができる。 (思考力・判断力・表現力)
- ・安全な町にしたいという目的意識を持ち、友だちと協働して粘り強く課題解決に取り組もうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

## 3. 単元について

### ①児童について

児童は2年生の生活科の学習で、自分たちの町にはどんな施設や建物があるのかを学んだ。3年生の1学期に町探検に出かけた際には、知っている店や施設のことを話しながら歩いている様子が見られた。駅が近いことや、病院や店が多いことなどに気づき、老上小学校区は便利で住みやすい地域だと感じている。そしてクラス数が増加していることから、老上小学校区に住む人々が増加していることにも気づいた。しかし、校区内に学校が多いため、自転車に乗る中・高生と細い道で多くすれ違ったり、車通りが多い道路が通学路にあったりと、通行に気をつける場面があり、交通安全に関する課題があるのではないかと思ったようである。

まちづくりセンターの人やスクールガードの方、保育園の職員や保護者などいろいろな人に話を聞くことで、それぞれの人が安全に関して抱いている思いや願いを知ることができた。また町にはグリーンベルト、カーブミラー、飛び出しぼうや、止まれ標識などの設備があることを知り、「町に交通安全のための工夫はあるから、もっと事故のない町にするためにはひとりひとりが気をつけることが大切だ」と個人への意識を改善することを目標としている。交通安全のために身に付ける物を作ったり、交通ルールを守った歩行の仕方を教えたりすることで安全な町づくりへ貢献していく姿に期待したい。

### ②教材について

草津市は滋賀県で2番目に人口の多い市であり、人口密度は県内1位である。道路の道幅などの交通のインフラ整備が人口増加に伴っていないため、草津市は県内で交通事故が多い傾向にあると矢橋交番の方からお話を聞かせていただいた。老上小学校区も校区内に南草津駅があることや、地域開発によりプリムタウンという住宅地ができたことにより、住民が増加している地域であり、車やバイク、自転車の交通量が多い。県外にも出かけやすく、便利で住みやすい地域ではあるが、そのような地域で生活をする中で交通安全を意識して過ごすこと、地域住民に交通安全を呼び掛けていくことは重要である。

様々な年代の人や、登校を見守ってくれているスクールガードの方、地域に住んでいる人達、郵便局員、保育園の職員から話を聞くことで、普段安全のために意識していることや、安全に対する願いを知る。また実際に町を歩くことで、安全のための様々な設備があり、地域の人たちは安全な町づくりに取り組んでいることに気づく。これらのことから「地域の交通安全のために何か行動をしたい」という気持ちを持ち、その方法を探し、発信していくことを本単元の目標としている。自分たちの行動が安全な町づくりの役に立った経験が、地域を愛し、今後も地域のために貢献していこうとする気持ちを育てていくために重要であり、本単元は魅力的な教材だと考える。

### ③指導について

#### (1) 探求的に活動をするための工夫

本單元では、「地域の人ひとりひとりの交通安全への意識を高めていくこと」を目標としている。多くの人にインタビューする中で交通安全への対策で「反射板のついたベストを着ている」「旗を持つ」などの「安全グッズを持つこと」、「左右をよく見る」「グリーンベルトを歩く」などの「歩行の仕方を気をつけること」が挙げられた。そこで子ども達が地域に発信する方法として「安全のためのグッズを作ること」と「安全な歩き方を教える交通安全教室を開くこと」をゴールとしている。その中でより良いものや方法を試行錯誤していく過程を大切にしたい。一度作ったグッズを改良点がないか考えたり、交通安全教室で伝える内容や方法を改善したりする時間を確保する。発信する相手のことを意識することや、自分以外の人の意見を聞き、協力していくことで探求的な活動を行えるようにする。

#### (2) シンキングツールの活用

本單元では、様々な人に話を聞いたり、老上学区の地域の安全設備を調査したり、交通安全教室を受けたり、児童が交通安全に関する情報を得る機会が多い。相違点や共通点を見つけたり、発信していきたいことを限定したりしていくためには、情報を整理、分析する必要がある。「マッピング」や「ピラミッドチャート」、「データチャート」、「KJ法」などのシンキングツールを使うことで、解決したい課題や発信したい内容が明確化し、児童の学習意欲を高めることにつなげたい。また自分の意見と友だちの意見を比較し、分類分けすることで、自分にはなかった新たな考えや視点を見つけることができ、多角的に物事を見ることにもつながると考える。

### ④ESD との関連

#### ESD の視点（見方・考え方）

- ・公平性…様々な年代の人が安心して住むことができ、たくさんの人たちが長く老上小学校区に住めるように「自分たちだけが良ければいい」「今さえ良ければいい」という考えは改める。
- ・相互性…安全な街にするために、自分たちが安全な歩き方や自転車の運転の仕方を教えに行く。また正しい交通マナーを次の人たちがつなげて広めていく。
- ・責任性…老上小学校区に住む一員として、安全な街にするために人任せにするのではなく、自分たちで行動することが大事。

#### ESD で育てたい資質・能力

- ・未来を予測して計画を立てる力…プリムタウンの分譲が続いており、今後もたくさんの人が老上小学校区に住むことが予測される。そんな中で自分たちができることを考えることができる。
- ・コミュニケーションを行う力…街の人たちに安全な交通を心がけてもらうために、どんな伝え方をすれば良いか考え、実際に関わることができる。
- ・他者と協力する態度…多くの人と協力しながら、安全な街づくりのための行動を発信することができる。
- ・進んで参加しようとする態度…「自分が安全な街にしていくんだ」という気持ちを持ち、自分が良いと思ったことを積極的に行動に移すことができる。

#### ESD で育てたい価値観

- ・世代内の公正…たくさんの人たちが住む街で、一人ひとりが安全を意識して過ごしていかなければならない。その社会の一員である自分たちには正しい交通のルールを自らも知り、広めていく義務がある。

#### 4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域に様々な人が住んでいることを受け、様々な年代の人が安全に過ごすための情報を収集している。</p> <p>②伝える相手に合わせて、自分たちの思いが伝わるとような発表の方法を考え、それを実践している。</p>	<p>① 自分の関心から地域についての課題を設定している。</p> <p>② 目的に応じて情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。</p> <p>③ 調べた地域の問題を比較したり、分類したり、数量などで表したりして、特徴を見つけている。</p> <p>④ 相手に応じてわかりやすくまとめ、まとめたことを行動・発信している。</p>	<p>① 自分なりの願いや思いをもって、学習の課題を設定し、調べたり、まとめ学習に取り組んだりしている。</p> <p>② 自分たちの暮らしている地域の安全に関心をも、地域に貢献しようとしている。</p>

#### 5. 単元計画 (全45時間)

	児童の探究的な姿〔 〕 学習活動 (○) 予想される児童の考えや気づき (・)	評価の観点と方法		
		知	思	主
1次 ① ⑩ (10時間)	<p>『老上小学校区はどんな特徴や課題がある街なのかな?』</p> <p>○老上小学校区の町探検に出かけ、町の特徴を見つける。 ・病院や店、学校が多い。 ・たくさんの人が住んでいて、車やバイク、自転車などの通行が多い。</p> <p>○老上小学校区の課題を見つける。 ・交通量が多いから、事故がおこりやすのではないかな。 ・もっと安全な老上小学校区になってほしい。</p>		① 発言 記述	① ② 発言 行動 観察
2次 ⑪ ⑫ (11時間)	<p>『老上小学校区の交通安全について地域の人はどう感じているのかな?』</p> <p>○矢橋交番の警察官の方のお話を聞く。 ・実際に草津市は事故が多いから、減らしていきたいな。 ・自転車の事故が多いから、自分たちも関係があるな。</p> <p>○地域のいろいろな人に安全についてインタビューをする。 スクールガードの人 まちづくりセンターの人 保育園の職員 郵便局の職員 保育園児さん 保護者の人</p> <p>○老上小学校区にある交通安全のための設備を調べる。 ・どの地域にもグリーンベルトやカーブミラー、横断歩道などの設備があった。 ・安全な街にするためにはひとりひとりが気をつけることが大切だな。</p>	① 発言 記述	② ③ 発言 記述	① 発言 行動 観察
3次 ⑬ ⑭ (4時間)	<p>『地域の人にどんなことを伝えたいかな?』</p> <p>○インタビューや話を聞いた中で、安全のために必要なことを整理する。 ・保育士さんは、安全のために目立つベストを着たり、笛や旗を持って行っていたよ。 ・郵便局の人は「危険を予知することが大切」と話していたな。 ・保護者の人は「左右をよく見て歩く」と言っていたな。 ・ルールを守ることを伝えたい。 ・安全なグッズを作って、それを持ってほしい。</p>	② 発言 記述	③ 発言 記述	② 発言 行動 観察

<p>4次 ③① ④② (20時間)</p>	<p>地域のためにできる行動をしよう！</p> <p>&lt;安全グッズ編&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どんな素材が反射板に適しているのか調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・折り紙の金や銀はピカピカしているよ。      ・鏡も光を反射させそうだな。</li> </ul> </li> <li>○自分用の反射板キーホルダーをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカーが好きだから、サッカーボールの形にしよう。</li> </ul> </li> <li>○地域の人に向けてどんな反射板キーホルダーがいいのか考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・とがっているところがあると危ないな。      ・小さいと見えにくいから大きくしよう。</li> <li>・交通安全のメッセージも載せるといいのではないかな。</li> </ul> </li> <li>○地域の人や園児さんに渡す反射板キーホルダーを作ってわたす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に気を付けてくれるといいな。</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;交通安全教室編&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○交通政策課の方たちの交通安全教室に参加する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しいルールが分かったから、安心して教えることができる。</li> </ul> </li> <li>○交通安全教室で園児さん用に工夫するところを考える。(本時) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コースの長さを変えたい。      ・一緒に歩いた方が分かりやすい。</li> </ul> </li> <li>○園児さんを招いて交通安全教室を開く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなに伝えることができてよかった。</li> </ul> </li> </ul>	<p>② 発言 記述</p>	<p>④ 発言 記述</p>	<p>② 発言 行動 観察</p>
------------------------------------	--	------------------------	------------------------	-------------------------------